

平成26年度事業報告

1 建設工事受託事業

市町村等の下水道管渠工事に係る調査・設計監理及び施工監理の技術支援を行った。

受託内容	市町村等数	事業費(百万円)	受託料(百万円)
調査・設計監理	2 (2)	128 (111)	5 (4)
施工監理	11 (8)	1,363 (1,306)	52 (50)
計 (当初計画)	11 (8)	1,491 (1,417)	57 (54)
市町村等数の増減内訳	増3(内訳 増:1町2村、減:なし)		
下水道関係資材 単価調査業務 (当初計画)			2 (2)
合計 (当初計画)	11 (8)	1,491 (1,417)	59 (56)

2 維持管理受託事業

(1) 流域下水道の維持管理

県から2流域3処理場の維持管理業務を受託した。

項目	千曲川流域(下流)	千曲川流域(上流)	犀川安曇野流域
流域関連市町村	2市1町1村	2市1町	2市
現有処理能力 【m ³ /日】	80,000	62,500	42,000
処理水量 【m ³ /日】 (当初計画)	48,243 (49,000)	46,788 (47,000)	21,792 (22,350)
発注方式	包括的民間委託 (性能発注・3ヶ年契約) (運転管理業務・清掃業務 等15業務・薬品(6品目) 及び消耗品の調達)	包括的民間委託 (性能発注・3ヶ年契約) (運転管理業務・清掃業務 等23業務・薬品(6品目) 及び消耗品の調達)	包括的民間委託 (性能発注・3ヶ年契約) (運転管理業務・清掃業務 等14業務・薬品(4品目) 及び消耗品の調達)
受託料(百万円) (当初計画)	780 (828)	820 (920)	609 (680)

(2) 公共下水道等の維持管理

① 処理場の維持管理

市町村等から公共下水道終末処理場及び農業集落排水施設の維持管理業務を受託した。

平成26年度は、新たに1市1村2処理場を広域維持管理として総合一括管理方式により受託した。また、1町1処理場において一括管理方式から総合一括管理方式による受託となった。

下水道長寿命化計画策定支援業務は、25年度からの継続1町に加え、新たに1町より処理場及びマンホールポンプ場の業務を受託した。

市町村等数	処理場数	受託料(百万円)
30：内訳：6市12町11村1組合	47	912
(30：内訳：6市12町11村1組合)	(47)	(1,005)

()は当初計画

② 管渠の維持管理

市町村が設置した公共下水道及び農業集落排水施設の管渠の維持管理業務を託した。

市町村数	受託料(百万円)
2：【内訳：1市1町】	19
(2：【内訳：1市1町】)	(20)

()は当初計画

③ 緊急用資機材の備蓄・提供等支援

公共下水道等への有害物質の流入等に対応するための資機材を備蓄し、緊急時における市町村から備蓄品の提供依頼と技術者の派遣要請に備えた。

備蓄場所： 県内7ヶ所

備蓄資材： オイルフェンス、オイルマット、中和剤等

3 排水設備工事責任技術者試験等事業

下水道実施市町村等との協定に基づき、「排水設備工事責任技術者試験」「更新講習」及び「資格試験合格者等の登録事務」を実施した。

協定市町村・組合数 63(19市 20町 23村 1組合)

項目	開催回数	修了・合格者数	実施時期	備考
更新講習	6回	1,442人	9・10月	
受験講習	1回	119人	10月	
共通試験	1回	100人	11月	受験者数 153人 合格率 65.4% (前年度 65.2%)
責任技術者登録		1,542人	随時	

4 調査研究等事業

(1) 処理場維持管理データ共有化システムの導入に関する調査

これまでに蓄積された処理場維持管理データを「運転状況の解析」、「アセットマネジメントの基礎データ作成」、「遠隔地管理」等に活用するため、処理場維持管理データ共有化システムの導入について調査を行った。

平成 26 年度は、1 箇所の処理場で入力データの選定とシステムの試行を実施し課題を整理した。

(2) 小規模処理場における省エネ運転等に関する調査

小規模処理場の維持管理経費を削減するため、既存設備の省エネ運転と省エネ設備の活用について調査研究を行った。

省エネ運転は、VS モーター^(※1)の回転数調整による電力量の削減について検証を行い、電力量が 30%以上削減した処理場があった。

省エネ設備は、エコベルト^(※2)の活用による電力量の削減等について検証を行い節電の効果を確認した。

今回検証した省エネ運転及び省エネ設備を他の処理場へ応用し、維持管理経費の削減を更に進めていく。

※1 VS モーター：ポンプモーターの可変速制御の一種（現在はインバーター制御が主流）

※2 エコベルト：省エネルギー効果が期待される伝達ベルト（Vベルト）

5 下水道関係職員研修等事業

下水道事業に携わる職員を対象に、下水道に関する知識・技術を習得するため研修会を開催した。

(1) 市町村職員を対象とした研修

研修名	時期	予定人員	研修内容
下水道経営研修	1月16日(金)	58人 (60)	下水道経営改善ガイドライン等、下水道事業の経営健全化を図るための知識の習得
技術職員研修	1月14日(水) 1月15日(木) 1月20日(火) 1月21日(水)	119人 (70)	生活排水対策の効率的な推進を図るための研修 (生活排水行政に係る広域的な連絡調整会議で実施)

()は当初計画

(2) 市町村職員研修の支援

公共下水道の健全経営や職員の資質向上のため、市町村において日本下水道事業団が主催する研修に職員を参加させる場合の受講料を助成した。

予定人員：10人

(10) ()は当初計画

(3) 公社職員の資質向上

下水道公社の自立や職員の資質向上を図るため、各種関連団体が主催する研修に職員を参加させるとともに、職場内伝達研修により公社の技術向上を図った。

主催者等	参加者数(人)
日本下水道事業団研修	2
日本下水道協会研修	15
全日本建設技術協会等研修	14
国家資格等取得	16
計 (当初計画)	47 (40)

(4) 防災訓練

職員の防災意識を高め、地震や事故等の災害時の適切な対応を図るため、公社で管理する流域下水道終末処理場や公共下水道終末処理場において、関係機関と連携して訓練を実施した。

管理事務所	実施日	訓練の内容
南信管理事務所	11月28日	震度6強の地震発生を想定した処理場緊急点検の実施とポンプ吊り上げ実地研修及び救急蘇生法講習会の実施
千曲川下流管理事務所	10月17日	震度6強の地震による機器故障と火災、負傷者の発生を想定した情報伝達と緊急措置訓練及び消火・避難訓練の実施
千曲川上流管理事務所	11月28日	震度6強の地震による処理場の運転停止と消毒用次亜塩素酸ナトリウムの漏洩を想定した情報伝達と緊急措置訓練の実施
中信管理事務所	1月30日	震度6強の地震による異常増水と機器故障を想定した各種操作訓練及び新たに設置された消化ガス発電設備の復旧操作訓練の実施

6 普及啓発事業

(1) ホームページによる普及啓発

下水道に関する普及啓発を図るため、建設工事及び処理場維持管理業務の受託状況や下水道の普及啓発に係るイベント開催予定等の情報を提供した。

〔掲載内容：建設工事受託市町村数・受託事業費、維持管理受託市町村・受託処理場、「水の研究室」の開催状況 等〕

また、平成27年度の流域下水道県直営化に伴い、ホームページの掲載情報の見直し及び利用者の利便性を重視したわかりやすいサイト構成への全面的なリニューアルを行った。

(2) 「下水道の日」のイベント

下水道事業の啓発のため、県及び関係市町村との共催によりイベントを開催した。

開催場所	イベント名	開催日	イベント内容	参加者数 (前年度)
千曲川流域下水道上流処理区 終末処理場	‘14 下水道ふれあいデー	9月6日	施設の見学、下水道管内TV かけによる実演、パネル・マホルトの展示他	1,300 人 (635)
犀川安曇野流域 下水道終末処理場	2014 アクアピア安曇野 ふれあいデー	9月6日	施設の見学、スゾーラー、微生物観察、パネル展示、建設機械式乗体験他	904 人 (887)
合 計				2,204 人 (1,522)

(3) 水の研究室の開催

下水道事業の理解を深めてもらうため、小学生を対象とした「水の研究室」を開催した。

管 理 事 務 所	開催日	実施内容	参加者数 (前年度)
千曲川上流管理事務所 (千曲川下流管理事務所共催)	9月6日	顕微鏡による微生物の観察、場内見学等	235 人 (160)
中信管理事務所	9月6日	顕微鏡による微生物の観察、場内見学等	300 人 (17)

(4) 流域下水道終末処理場の見学者対応

終末処理場の PR や水処理への理解を深めるため、小学生の社会見学や公民館活動等としての見学者に対し施設を案内した。

管理事務所	千曲川下流	千曲川上流	中 信	合 計 (前年度)
見学者数	1,221 人 (1,767)	2,821 人 (2,061)	2,161 人 (2,047)	6,203 人 (5,875)

(5) 市町村の下水道普及啓発イベントに対する支援

下水道の適正使用を促進するため、市町村が開催するイベントで配布するための下水道啓発グッズを無償提供した。

(啓発グッズ : 下水道マスコットシャープペン等
 支援市町村数 : 1 市)

(6) 市町村の小学校社会見学に対する支援

下水道の適正使用を促進するため、市町村からの依頼により小学生の社会見学時に配布するための下水道啓発グッズを無償提供した。

〔啓発グッズ：パンフレット、下水道マスコットボールペン等〕
〔支援市町村数：3町〕

(7) 信州環境フェア 2014 への参加

8月23日、24日に長野市ビッグハットで開催された信州環境フェア 2014 に長野県生活排水広報委員会として参加した。

〔参加内容：パネル展示（下水道のしくみ・役割）
顕微鏡による活性汚泥内の微生物の観察
処理場の流入水と放流水の比較〕

(8) 「安曇野環境フェア 2014」への出展

10月11日、12日に安曇野市堀金総合体育館で開催された環境フェアに出展した。

〔出展内容：パネル展示（下水道のしくみ・役割）、顕微鏡観察〕

(9) 諏訪湖ふれあいまつり 2014 の後援

9月7日にクリーンレイク諏訪（豊田終末処理場）で開催された平成26年度諏訪湖浄化・環境保全促進イベント“ふれあいまつり 2014”の後援を行った。

7 その他

災害対応

平成26年11月22日に発生した「長野県神城断層地震」により被災した白馬村に対し、「長野県生活排水事業の災害時における支援協力に関する覚書」に基づき応援活動を実施した。

※ 平成26年度事業報告の付属明細書

定款第9条第1項第2号に定める事業報告の付属明細書については、すべて事業報告へ記載した。